

令和(6)年度 教科(社会) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

- (1) 州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、気候などの自然を生かした産業や人々の生活を理解して、よりよく課題解決する力を養う。
- (2) 他地域との共通点や相違点から、各州の抱える課題に気付いたり、地域的特色を大観したりする力を養う。
- (3) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて時代の転換の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察して大観するとともに、平和で民主的であるために何が大切なのかを考えようとする力を養う。
- (4) これからの社会を支える公民として、正しい情報が何であるのかを吟味し、社会的事象を公正に見る主体的な態度を身に付ける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	テスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシートの記述内容 振り返りの記述内容 ノートまとめ(自主勉強)の記述内容 学習の様子(発言や話し合いの内容、授業メモ等)	テスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシートの記述内容 振り返りの記述内容 時事ノートへの考察内容 学習の様子(発言や話し合いの内容、授業メモ等)	テスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) 提出物の内容 時事問題への興味関心 学習の様子 (ノートやプリント類への記述、話し合い活動や発言等)	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	地理 社会科を学ぶ意義(導入)(1) 第1編 世界と日本の姿	○導入の活動 ○さまざまな国, 地球上の位置, 地球儀と世界地図	1 6	数学
	5	1章 世界の姿(6) 2章 日本の姿(6) 第2編 世界のさまざまな地域	○日本の位置, 時差, 領域	6	数学
	6	1章 世界各地の人々の生活と環境(10) 2編2章 世界の諸地域(13)	○さまざまな気候のもとでの暮らし ○アジア州 ○ヨーロッパ州	10 7 6	理科・家庭 理科
	7	歴史 分野の導入(1)	○歴史をとらえる見方・考え方	1	
	8	1章 歴史へのとびら(4) 2章 古代までの日本(21)	○身近な地域の歴史 ○世界の古代文明と宗教のおこり ○日本列島の誕生と大陸との交流 ○古代国家の歩みと東アジア世界	4 6 5 10	理科 美術
	9	地理 2編2章 世界の諸地域(22)	○アフリカ州 ○北アメリカ州 ○南アメリカ州 ○オセアニア州	5 6 5 4	英語 技術 英語
	10	地域調査の手法(3)	○パフォーマンス課題 ○地域調査の手法	2 3	国語・美術 数学・技術
	11	歴史 3章 中世の日本(18)	○武士の政権の成立 ○ユーラシアの動きと武士の政治の展開, パフォーマンス課題	6 12	国語・美術
12					
3	1				
2	2				
3	3				
総時数	105 時間				

令和(6)年度 教科(社会) 第(2)学年 年間指導計画

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

- (1) 日本の諸地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、気候などの自然を生かした産業や人々の生活を理解して、よりよく課題解決する力を養う。
- (2) 他地域との共通点や相違点をつかみ、各地方の地域的特色を大観する力を養う。
- (3) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて時代の転換の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察して大観するとともに、平和で民主的であるために何が大切であるのかを考える力を養う。
- (4) これからの社会を支える公民として、持続可能な社会づくりの視点で公正に判断し、社会参加する主体的な態度を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシート・振り返り (記述内容) ノートまとめ自主勉強(記述内容) 時事ノートの資料内容 学習の様子 (話合や発言内容、ノートやプリント類への記述等)	ペーパーテスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシート・振り返り (記述内容) 時事ノートへの考察内容 学習の様子 (話合や発言内容、ノートやプリント類への記述等)	ペーパーテスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシート・振り返り (記述内容) 時事問題への興味関心 提出物の内容 学習の様子 (話合や発言内容、ノートやプリント類への記述等)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元,教材名	小単元,学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	導入(1)	○導入の活動	1	数学 理科
	5	歴史 武家政治の展開続き(4)	○武士の政治の展開続き	4	
	6	地理 第3編 2章 日本の地域的特色と地域区分	○防災減災への取組	2	
	7	(11)	○さまざまな視点から見た日本の特色	9	
	8	4章 地域の在り方, 地域調査の手法	○地域の在り方と地域調査の仕方とまとめ	5	
	9	歴史 4章 近世の日本(26)	○ヨーロッパ人との出会いと全国統一	8	
	10	3章 日本の諸地域(38)	○江戸幕府の成立と対外政策	8	
	11		○産業の発達と幕府政治の動き, パフォーマンス課題	10	
2	12		○九州地方	5	理科 総合 総合
			○中国・四国地方	5	
			○近畿地方	5	
			○中部地方	8	
			○関東地方	5	
3	1	歴史 5章 開国と近代日本の歩み(20)	○欧米における近代化の進展	5	数学・技術 技術
	2		○欧米の進出と日本の開国	6	
	3		○明治維新	5	
				9	
総時数	105 時間				

令和(6)年度 教科(社会) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

- (1) 社会的な見方・考え方を働かせて、時代の転換の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察して大観するとともに、平和で民主的であるために何が大切なのかを考慮し、議論する力を養う。
- (2) 持続可能な社会づくりの視点で現代社会に見られる課題について考え、議論する力を養う。
- (3) 豊かさとは何か、民主主義とは何か、世界平和のために何ができるか等自分ごととしてとらえ、互いが思考・判断したことを理解して、よりよく課題解決する力を養う。
- (4) 溢れる情報の中から正しい情報を読み取り、公正に判断する力を養う。
- (5) これからの社会を支える公民として、社会参加する主体的な態度を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシート・振り返り (記述内容) ノートまとめ自主勉強(記述内容) 時事ノートの資料内容 学習の様子 (話合や発言内容、ノートやプリント類への記述)	ペーパーテスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシート・振り返り (記述内容) 時事ノートへの考察内容 学習の様子 (話合や発言内容、ノートやプリント類への記述)	ペーパーテスト (中間テスト・期末テスト・学年末テスト・小テスト) ワークシート・振り返り (記述内容) 時事問題への興味関心 提出物の内容 学習の様子 (話合や発言内容、ノートやプリント類への記述)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元,教材名	小単元,学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	歴史 導入(1) 第5章 開国と近代日本の歩み (11)	○学年の導入の活動 ○明治政府の改革 ○日清・日露戦争と近代産業	1 3 8	数学
	5	第6章 二つの世界大戦と日本 (19)	○第一次世界大戦と日本 ○大正デモクラシーの時代 ○世界恐慌と日本の中国侵略	5 3 6	
	6	第7章 現代の日本と私たち (13)	○第二次世界大戦と日本 ○戦後日本の出発 ○冷戦と日本の発展	5 2 6	数学
	7	公民 導入(1) 第1章 現代社会と私たち(14)	○新たな時代の日本と世界 ○分野の導入 ○現代社会の特色と私たち	1 6 3	
	8	第2章 個人の尊重と日本国憲法 (16)	○私たちの生活と文化 ○現代社会の見方や考え方 ○人権と日本国憲法	5 6 6	家庭
	9	第3章 現代の民主政治社会 (23)	○人権と共生社会 ○これからの人権保障 ○現代の民主政治	4 7 10	
	10	第4章 私たちの暮らしと経済 (26)	○国の政治の仕組み ○地方自治と私たち ○消費生活と市場経済	6 6 6	家庭
	11		○生活と労働 ○市場経済の仕組みと金融	6 7	
12		○財政と国民の福祉 ○これからの経済と社会	4 3	英語 理科	
3	1	第5章 地球社会と私たち (17)	○国際社会の仕組み ○さまざまな国際問題 ○これからの地球社会と日本		6 6 5
	2				
	3				
総時数	140 時間				

